

原爆投下から 79 年

核廃絶と戦争のない

社会をつくりだそう!!



忘れてはならない日 - 後世に平和をつなごう -

8月6日は広島県で、9日は長崎県で原爆が投下されてから79年を迎えます。多くの尊い命が原爆の発した高温な熱線によって一瞬で奪われました。生き延びた方も後遺症に悩まされ続け、その後の人生が大きく狂わされました。被爆者の高齢化は進み、今もなお苦しみ続けています。私たちは、決して忘れてはならない日として、核兵器や戦争の恐ろしさを学び、命の大切さを後世につないでいかなければなりません。



高まる核の脅威 -いま声をあげよう-

現在もなおロシア軍によるウクライナ侵攻は続いており、ロシアはウクライナを支援する米欧に核兵器の使用をちらつかせて威嚇したり、イスラエルでも閣僚からガザに核爆弾を落とすことも選択肢だと発言するなど、核の脅威が高まっています。

平和を守り広めるあらゆる活動に参加し、今こそ命の尊さを声を大にして訴えていきましょう！



子どもたちの平和な未来のために

過去を学び、命の尊さをつなごう!